

2019 年度日本菌学会菌類観察会（青森フォーレ）のお知らせ

実行委員長 佐野 輝男

2019 年度日本菌学会菌類観察会を下記の通り行いますのでご参加ください。

今回のフォーレ会場は、青森県です。観察地は（A）白神の森遊山道（鱒ヶ沢町）、（B）青森県民の森・梵珠山（青森市浪岡）、（C）弘前大学白神自然観察園（西目屋村）といったブナ、ミズナラなどの広葉樹林を予定しております。白神山地およびその周辺環境は、多種多様な動植物が生息する貴重な生態系として知られていますが、きのこ類の研究はまだ十分とはいえません。弘前大学白神自然観察園では、園内でみられる 300 種以上のきのこがリスト化されていますが、本フォーレにおける皆様の研究活動により、多くの「新発見」があることを願っています。

青森県でのフォーレ開催は、1998 年（八甲田山城ヶ倉温泉）以来 21 年ぶりとなります。東京から列車で 4 時間半程度と遠方での開催となりますが、多数の方々のご参加をお待ち申し上げます。実行委員一同、充実したフォーレになるように準備を重ね、皆様をお迎えしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

観 察 地：（A）白神の森遊山道（鱒ヶ沢町）
（B）青森県民の森・梵珠山（青森市浪岡）
（C）弘前大学白神自然観察園（西目屋村）

期 間：2019 年 9 月 6 日(金)～8 日(日)

受付・講演会・説明会・懇親会：弘前パークホテル（青森県弘前市土手町 126）

同定会場：弘前大学農学生命科学部・共用学生実験室 2（弘前市文京町 3）

募集人数：80 名（定員になり次第締め切ります）

参加費：8,000 円、学生（大学院生以下）6,000 円

※観察会バス代 及び 2 日目昼食弁当代金を含む、事前振込

懇親会費：6,000 円（事前振込）

振込口座：参加申込書受理の通知にてお知らせいたします。

宿 泊：弘前パークホテル（〒036-8182 青森県弘前市土手町 126, TEL 0172-31-0089,
https://www.imgnjp.com/hiro_park/)

弘前プラザホテル（〒036-8001 青森県弘前市代官町 101-1, TEL 0172-35-0345）

※宿泊費；2 泊 10,800 円（シングル 1 泊朝食付き 5,400 円）

※予約及び支払いは各自でお願いします。宿泊料は特別料金になっていますので、菌類観察会参加者であることを伝えて予約してください。

申込期限：2019 年 7 月 31 日（水）

申込方法：参加申込書を下記申込先にメールまたは郵送でお送りください。

申 込 先：E-mail：foray_app@fungi.skr.jp

〒515-2343 三重県松阪市小阿坂町 4038-2 谷口雅仁

申込完了：参加申込書が受理され、参加費・懇親会費の入金が確認された時点で申込が完

了となります。

日 程 (予定)

9月6日(金)	9月7日(土)	9月8日(日)
13:00 参加者受付 (弘前パークホテル)	8:30 各観察地へ出発 (送迎バス)	9:00 閉会式 9:30 参加者解散
14:00 開会式, 講演会 (弘前パークホテル)	9:30 各観察地に到着 観察開始	
16:00 観察地説明会	昼食(観察地内施設)	
18:00 記念撮影	13:00 各観察地を出発 (送迎バス)	
18:30 懇親会 (弘前パークホテル)	14:00 同定会場に到着 (弘前大学農学生命科学部) 同定開始	
	17:00 同定会終了 (送迎バスでホテルへ)	
	18:00 夕食(各自)	
	19:00 採集品整理など(有志)	

申し込みの際のご注意

- ・お申込は E-mail, または郵送でお願いします。手書きは楷書で読み易くご記入ください。
- ・E-mail でお申し込みの場合は, なるべく菌学会ホームページに掲載される Excel ワークシートをご使用ください。
- ・生年月日は, 保険の申込みに必要な情報です。
- ・住所および電話が勤務先の場合は, 会社名・所属部署の記入をお願いいたします。
- ・携帯電話番号は, 観察会参加時に使用するものをご記入ください。非常時の緊急連絡用などに使用します。
- ・E-mail を使用されている方は, アドレスを必ずご記入ください。参加者への連絡に使用させていただきます。
- ・食べ物でアレルギーがある場合は, その食材とアレルギーの程度についてご記入ください。ただし, 食材によっては除去などの対応ができない場合もございます。
- ・やむを得ずキャンセルされる場合は, 申込先まで速やかにご連絡ください。参加費・懇親会費とも, 直前の場合はキャンセル料が発生します。宿泊のキャンセルは, 直接ホテルにご連絡をお願いします。(前日からキャンセル料が発生します。)
- ・日帰り参加の場合も, 参加申込書の提出が必要です。
- ・観察地へは原則としてバスにより移動する都合上, 申込時に希望されるコースをお伺い

たしますが、ご希望に添えない場合があることを予めご了承ください。

ホテルから観察地までの送迎バスについて

- ・ 9月7日弘前パークホテルと各観察地間で送迎バスを用意します。出発時刻は8時30分を予定しています。往復2,000円程度を想定しており、参加費（事前振り込み）に含まれています。

宿泊施設について

- ・ 宿泊は弘前市内の弘前パークホテル（60名程度）と弘前プラザホテル（20名程度）です。各自で予約と支払いをお願い致します。予約の際に「菌類観察会」参加者であることを伝えてください。また、受付・説明会・懇親会は弘前パークホテルで開催されますので、まず弘前パークホテルにお申し込みください。満室の場合は、弘前プラザホテルにお申し込みください。弘前プラザホテルから弘前パークホテルまでは徒歩で約10分です。

共催団体

弘前大学農学生命科学部、鱒ヶ沢町、白神キノコの会、日本菌学会東北支部、青森県きのこ会、青森きのこ友の会、八戸きのこ友の会、三沢きのこ同好会、黒石きのこ研究会、五所川原山酔会、菌類懇話会

実行委員（50音順）

安藤洋子、江口一雄、工藤伸一、小林徹、笹孝、佐野輝男（実行委員長）、鈴木義孝、田中和明、谷口雅仁（国内集会理事）、種山裕一（国内集会幹事）、土屋慧、殿内暁夫、長澤栄史、名部みち代（国内集会幹事）、橋屋誠、服部力、原田幸雄、保坂健太郎、細矢剛、松井英幸、三ツ谷順子、宮入一夫、湯口竹幸、米内山宏

問い合わせ先

佐野 輝男 （sano@hirosaki-u.ac.jp）
田中 和明 （k-tanaka@hirosaki-u.ac.jp）
小林 徹 （koba8332@amber.plala.or.jp）
谷口 雅仁 （gajin@mctv.ne.jp）
名部みち代 （forest@phoenix-foundation.jp）

弘前へのアクセス：

JR 東日本：新幹線・新青森駅より JR 奥羽本線（上り弘前・大館方面）にて弘前駅まで40分程度。

東北自動車道：大鱈/弘前 IC より約10km，黒石 IC より約12km

弘前駅からホテルへのアクセス：

各ホテルへは JR 弘前駅より徒歩約 12 分（下図参照）

ホテルから弘前大学農学生命科学部へのアクセス：

徒歩の場合（約 15 分）、タクシーを利用する場合（約 5 分）

バスを利用する場合（約 10 分）「小栗山・狼森線」または「学園町線」に乗車，【弘大農学生命科学部前】で下車

※学内の駐車場には限りがあるため，できる限り公共交通機関でお越し下さい。



(弘前大学 HP より改変)

観察地の紹介

3つの観察コースを選定しました。以下の説明及び下記に記載したホームページを参考に、申し込み時に希望コースを選択してください。なお、弘前パークホテルから観察地まで中型のバスをチャーターして送迎致します。バス乗車可能人数の関係上、観察コースの人数を25～30名としますので、ご希望に添えない場合があることを予めご了承ください。

各観察地は、管理施設等が整備されており、施設内で昼食をとって戴くことができます。宿泊地から各観察地までに要する時間もほぼ同じ程度で、付帯施設に大きな違いはありません。

宿泊地及び菌類観察地の全体地図



(グーグル地図より改変)

観察コースの概要

A. 白神の森遊山道（白神の森）コース（ホームページ；<https://shirakaminomori.jp/>）

白神の森は、かつて津軽藩の領地で、水田水源地として地元集落の人々によって大切に保護されてきた森で、ブナ林など白神山地の特徴的な植生がみられます。森の中の道は、かつて山仕事の人々が用いた杣（そま）道の名残りであり、遊歩道と言うには険しく、登山道というほどには険しくないことから、遊山道と呼ばれています。森林内には、ブナ・クルミ・ミズナラ・トチノキなどがみられ、周回コースと短縮コースが整備されています。周回コースは一周約1時間から1.5時間、短縮コースは約30分から40分です。入口の「くろもり館」には展示スペースと休憩できる場所があり、昼食をとることが出来ます。管理者の鱒ヶ沢町（共催団体）のご厚意で、入山料は無料にしています。

(白神の森遊山道案内パンフレットより抜粋)



B. 青森県民の森・梵珠山（梵珠山）コース

（ホームページ；https://www.aptnet.jp/Detail_display_00000097.html）

梵珠山は青森市と五所川原市にまたがる標高 468m の山で、名前からも想像できるように古くから信仰の山とされ、山頂には観音像が安置されており、津軽平野を眺望できます。県民の森は、青森県を代表するブナ林とヒバ林の保護と県民への開放を目的として設置され、梵珠山地域にはブナ天然林が分布しています。サワグルミの道、ミズバショウの道、マンガンの道、アカゲラの道などが整備され、山頂まで約 2～2.5 km、1 時間 15 分程度を要します。登り口の「自然ふれあいセンター」には、動植物のパネル展示や研修室があり、研修室で昼食をとることができます。

（梵珠山案内パンフレットより抜粋）



C. 弘前大学・白神自然観察園（白神自然観察園）コース

（ホームページ；<http://www.hirosaki-u.ac.jp/shirakami/garden.html>）

弘前大学農学生命科学部附属白神自然環境研究センターの附属施設で、世界遺産地域から 3 km 程の距離にあり、ミズナラを主とする二次林、ブナ林、スギやカラマツの植林地等様々な林相からなります。薪炭材の採取に利用されていた里山で、炭焼き小屋の痕跡を見ることがもできます。園内には観察路と 3 ヲ所の東屋、ベンチが整備され、自然観察の便が図られています。ツキノワグマ、ニホンカモシカ、ニホンザル、ヤマネ等の生息も確認されています。山頂の「不識の塔」を回る周回コースは、約 1 km、ゆっくり歩いて約 1 時間です。「教育研

究棟」には最大 40 人が収容できる講義・実習室，教員研究室，実験室があり，白神山地での野外調査の拠点として利用されています。（弘前大学・白神自然観察園ホームページより抜粋）

